



Turin's Tea Time 国際交流員テウリンのティータイム

人間にとって身近な馬

日本人の友達によると、日本で「馬」といえば競馬や馬刺しのイメージがあるそうですが、オーストラリアでは身近でみんなにとっても愛されている動物です。今日はオーストラリアの馬の話をしていきます。

みんなが注目するメルボルンカップ

オーストラリアの歴史の中では、馬は戦争や探検、交通のために使われていて、犬と同じように人間にとって身近な存在でした。毎年11月にメルボルン市で催されている「メルボルンカップ」は有名なレースで、あまり競馬に興味がない人でも、競馬の放送をテレビで見たり、ラジオで聞いたりするほどの国民的な行事です。

メルボルンカップは「国の動きを止めるレース」と呼ばれていて、メルボルンのヴィクトリア州では、メルボルンカップの日は休日となっています。1930年代の優勝馬「ファーラップ」は、みんなに愛され、とても人気がありました。海外でのレース中に突然死んでしまいました。今でも、ファーラップの雄姿を忘れないようにメルボルンの博物館に剥製が展示されています。

馬とつながりの深いおじいちゃん

私の故郷のウォーホープでは、乗馬はとても人気で、私の家族も馬と大切なつながりがあります。私のおじいちゃんは蹄鉄と馬専用の薬を作る仕事をしていたので、ニューサウスウェールズ州の競馬界では有名でした。おじ



▲乗馬を楽しむいとことおじいちゃん

今日から使える

ひとこと英会話

Lesson 31

「たまに」ということを伝えたいときにひとこと

"now and then"

読み方 「ナウ アンゼン」

意味 「たまに、時々」

「ダイエットをしているけど、たまにファストフードを食べる」



直訳すると「今とそのとき」となり、「いつもじゃない」という意味になります。

「sometimes」と同じ表現です。「Every now and then」「every once in a while」「now and again」というフレーズもありますが、意味は変わりません。

いちゃんが亡くなったときの葬儀と散骨は、シドニーの競馬場で行われました。



日本では、馬刺しがスーパーやレストランで提供されていることが珍しくありませんが、私 ▲愛馬のスポッティーは馬刺しを見ると、おじいちゃんに愛されていたスポッティーを思い出すので食べることができません。

Turin's diary -テウリンの日記-

湯布院に行ってきました



私は留学生、外国語指導助手、英会話教師、国際交流員として福岡に5年間くらい住んでいますが、九州のほかの県にはあまり行ったことがありませんでした。英会話の生徒や福岡の友達は湯布院に行くのが大好きなようで、私もようやく4月に、東京の鉄道ファンの友達と行くことができました。



▲湯布院の町並み

九州の鉄道は、鉄道ファンの中ではとても有名です。特別な電車に乗りたかったので「ゆふいんの森号」で旅立ちました。湯布院は、同じ九州なのに景色や雰囲気が福岡とは違うと感じました。町が小さく、空気はおいしく、緑がいっぱいあるのでオーストラリアの故郷のウォーホープのことを思い出しました。

旅行中は雨が降ることもありましたが、特に昭和館とレトロモーターミュージアムが楽しかったです。湯布院が人気な理由が分かりました。

※ページ内のイラストは、テウリンが描いています